

**リミニストリート、2023年度第2四半期決算を発表**

業績ハイライト：

第2四半期収益：1億640万ドル（前年度同期比5.2%増）

売上総利益率：63%（前年度同期63.1%）

純利益：430万ドル（前年度同期10万ドル）

（米国ラスベガス - 2023年8月2日） - エンタープライズソフトウェアのサポート、製品、サービスをエンドツーエンドで提供するグローバル企業であり、Oracle および SAP ソフトウェアに対する第三者保守サービスの主要なプロバイダー、ならびに、Salesforce および AWS のパートナーである [Rimini Street, Inc.](#) (Nasdaq: RMNI)は、本日、第2四半期（2023年6月30日終了）の決算を発表しました。

リミニストリーの共同設立者、最高経営責任者（CEO）兼取締役会長である [Seth A. Ravin](#) は「2023年第2四半期は、北米史上最大の売上請求総額を達成することができました。これは、当社の営業・マーケティングの市場開拓プランが引き続き支持を得ていることを示すデータの一つであると思います。新規顧客への請求書発行とパイプラインは前四半期比でも前年度同期比でも改善され、当社の新しい製品ポートフォリオ全体で売上が継続的に伸びています。ミッション・クリティカルなシステムのプロダクション・サポートにおけるグローバル・リーダーとして、グローバルに私たちのソリューション・ポートフォリオを提供できるように従業員を増やし、キャパシティを拡大していきます。ソリューション・ポートフォリオの大幅な拡大により、新規および既存顧客への売上が増加し、サブスクリプションの更新と延長も改善され、終身契約価値が上がると思っています。」とコメントしました。

リミニストリーの最高財務責任者である [Michael L. Perica](#) は「この第2四半期は、ほぼすべての主要営業指標において堅調な業績を収めることができました。前年度同期に比べ純利益が大幅に増加したことに加えて、当四半期末のネット・キャッシュは6,470万ドルとなり、強固なバランスシートを維持しました。また発行済み普通株式100万ドルを1株当たり平均4.09ドルで買い戻しました。」と語りました。

※第2四半期財務詳細については以下を参照ください。

<https://www.riministreet.com/jp/press-releases/announces-fiscal-second-quarter-2023-financial-and-operating-results/>

**【2023年第2四半期財務ハイライト】**

- ・2023年第2四半期の収益は、前年度同期の1億120万ドルから2%増の1億640万ドル。
- ・米国内の収益は、前年度同期の5,390万から1%増の5,400万ドル。
- ・米国外の収益は、前年度同期の4,730万ドルから9%増加の5,240万ドル。
- ・2023年度第2四半期の年換算経常収益は、前年度同期の3億9,670万ドルから4%増の4億1,010万ドル。
- ・2023年6月30日終了までの12ヶ月間の収益維持率は94%（2022年3月31日に終了した同期間の維持率95%）。

- ・2023年第2四半期のサブスクリプション収益は、前年度同期において総収益の0%を占めた収益は9,920万ドルに対して、2023年第2四半期の総収益の96.3%を占める1億250万ドル。
- ・2023年第2四半期の請求額は、前年度同期の1億160万ドルから8%増の1億440万ドル。
- ・2023年度第2四半期の売上総利益率は、前年度同期の1%に対し63.0%。
- ・2023年度第2四半期の営業利益は、前年度同期の570万ドルに対し1,030万ドル。
- ・2023年度第2四半期の非GAAPベースの営業利益は、前年度同期の1,190万ドルに対し1,490万ドル。
- ・2023年第2四半期の純利益は、前年度同期の1百万ドルに対し4.3百万ドル。
- ・2023年第2四半期の非GAAPベースの純利益は、前年度同期の640万ドルに対し880万ドル。
- ・2023年度第2四半期の調整後EBITDAは、前年度同期の1,100万ドルに対し1,580万ドル。
- ・2023年度第2四半期の基本的小よび希薄化後の普通株主に帰属する1株当たり当期純利益は05ドル、前年度同期の基本的小よび希薄化後の1株当たり当期純利益は0.00ドル。
- ・2023年6月30日現在の現金・短期投資は、前年度同期の1億6,020万ドルに対し1億4,070万ドル。

本プレスリリースに記載された非GAAPベースの財務指標を、最も直接的に対応するGAAPベースの財務指標に基づき調整した上記数値詳細は、本プレスリリース末尾の財務諸表に掲載しています。これらの指標の意義に関する当社の見解と計算方法については、英文リリースの「About Non-GAAP Financial Measures and Certain Key Metrics（非GAAPベースの財務指標と特定の重要指標について）」をご参照ください。

### 【2023年第2四半期営業ハイライト】

・リミニストリートによるサービスへ切り替えた代表的な新規顧客、およびリミニストリートとの契約範囲を拡大した既存顧客の代表例：

・[Daekyo](#) – 子どもから高齢者まですべての世代をカバーする生涯教育サービスを提供する韓国の大手教育サービス企業。

・[HCX Technology Partners](#) – フィリピンを拠点とするデジタルビジネスソリューションプロバイダー。同社のOracle PeopleSoft 6万ライセンスにRimini Support™を採用。

22カ国の顧客に対し、約9,000件のサポートケースを解決し、約7,000件の税務、法律、規制に関するアップデートを提供。また、当社のサポート提供に対する顧客満足度の平均は0点満点中4.9点以上（5.0点はエクセレント）。

・オラクルとSAPのソフトウェア向けに、コスト削減できるポイントを数分で特定し、総所有コストを最大90%削減できるソリューションを紹介する[無料のコスト削減計算ツール](#)をリリース。

・[10年連続でISO-27001およびISO-9001の監査に合格](#)し、厳格な品質およびセキュリティ・プロセスを通じて、誠実さ、説明責任、信頼性、保護の文化と顧客体験を維持。

・2023年のStreet SmartとStreet Light Executiveのスケジュールを発表。何千人ものグローバルなCXO、IT、財務のリーダーたちが、同業者同士の学習、ネットワーキング、アイデアの共有のユニークなコミュニティに参加。

・2年連続で「2023 Great Place to Work Korea」認定を受賞。米国、オーストラリア、ニュージーランド、欧州・中東・アフリカ、日本、インド、英国で「働きがいのある会社」に認定。

・東京で開催された[RMNI LOVE 5万ドル助成金プログラムの受賞者が発表](#)され、5つのチャリティー団体にそれぞれ1万ドルを授与。

## 【その後の出来事】

2014年10月、リミニストリートは米国連邦地方裁判所リミニストリート対オラクル訴訟（以下「リミニII訴訟」）を提起しました。リミニII訴訟の陪審審理が始まる数日前、オラクルはリミニストリートおよびそのCEOであるSeth A. Ravinに対し、同訴訟におけるいかなる法律構成に基づくあらゆる種類の金銭的救済の請求をすべて取り下げました。2022年後半に行われた裁判を経て、2023年7月24日、連邦地裁はRimini II訴訟の事実認定および法結論を発表し、当社に対する終局的差止命令（以下「リミニII差止命令」）を付しました。

当社は、オラクル社が主張する侵害の大部分を含む多くの法的論点について勝訴し、米国連邦地裁は、該当するソフトウェア・ライセンスは、オラクルの顧客が、該当するライセンスに基づきオラクルの顧客が行うことができるのと同じ範囲で、リミニストリートのような第三者にアップデートや修正を依頼することを禁止するものではないとしました。しかしリミニストリートは、米国連邦地裁の他のいくつかの結論、所見、コメントおよび判決には同意せず、2023年7月25日、当社は、リミニII訴訟の所見および結論、ならびにリミニII差止命令に対する控訴状を提出し、2023年7月28日、控訴の結果が出るまでリミニII差止命令の執行を停止する緊急動議を提出した。2023年7月30日、連邦地裁はリミニストリートの緊急停止申し立てについて、オラクル側の回答期限を2023年8月7日まで、当社側の回答期限を2023年8月11日までとする迅速な報告スケジュールを設定する命令を下しました。

リミニII差止命令は、主にオラクルのPeopleSoftソフトウェア製品を対象としています。リミニII差止命令は現在、オラクルのPeopleSoftソフトウェア製品を使用する顧客に提供できるサポートサービスを制限していますが、完全に禁止しているわけではありません。当社がオラクルのPeopleSoftソフトウェア製品に対してのみ提供するサポートサービスによる収益の割合は、2023年度第2四半期において当社の総収益の約8%でした。

リミニストリートとオラクルとの訴訟に関する追加情報および開示については、2023年8月2日に米国証券取引委員会に提出した当社の四半期報告書（フォーム10-Q）をご覧ください。

## 【2023 年事業見通し】

リミニストリートは、2023 年第 3 四半期の収益ガイダンスを 1 億 5,050 万ドルから 1 億 750 万ドルの範囲とし、2023 年通年の収益および調整後 EBITDA ガイダンスは、オラクルとの訴訟（「後発事象」の項を参照）における米国連邦裁判所での現在の訴訟活動からの影響がより明確になるまで保留します。

## 【ウェブキャストおよびカンファレンスコールによる当社情報の継続的公開】

リミニストリートは、2023 年 8 月 2 日午後 5 時（米国東部時間）／午後 2 時（米国太平洋時間）に、2023 年第 2 四半期の業績および 2023 年第 3 四半期の業績についての電話会議およびウェブキャストを開催します。このイベントのライブ・ウェブキャストは、リミニストリートの投資家向け情報サイトの[リミニストリート IR イベント・リンク](#)から、また[ウェブキャスト・リンク](#)から直接ご覧いただけます。ダイアルインの参加者は、ダイアルイン登録リンクから登録することで会議にアクセスできます。ウェブキャストの再生は、イベント後 1 年間利用可能です。

## 【非 GAAP ベースの財務指標の使用について】

本プレスリリースには特定の「非 GAAP 財務指標」が含まれています。非 GAAP ベースの財務指標は、包括的な一連の会計規則や原則に基づくものではありません。この非 GAAP 情報は、米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）で要求される開示に従った業績指標を補足するものであり、それを意図するものではありません。非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して決定された財務指標に加えて考慮されるべきであり、GAAP に準拠して決定された財務指標を代替または優越するものではありません。GAAP ベースの業績と非 GAAP ベースの業績の調整表は、本プレスリリース内の財務表に含まれています。非 GAAP 財務指標および特定の主要指標について」の見出しの下に、当社の非 GAAP 財務指標の説明と解説が記載されています。

## リミニストリートについて

ラッセル 2000® カンパニーであるリミニストリート（Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)）は、エンドツーエンドのエンタープライズソフトウェアサポート、製品、サービスのグローバルプロバイダーであり、Oracle および SAP ソフトウェアに対する第三者保守サービスの業界リーダー、そして、Salesforce および AWS のパートナーでもあります。エンタープライズアプリケーション、データベース、テクノロジーソフトウェアの実行、管理、サポート、カスタマイズ、設定、接続、保護、監視、最適化を行う包括的な統合ソリューションファミリーを世界各地で提供しています。お客様がより良いビジネス成果を達成し、コストを大幅に削減することによりイノベーションのためにリソースを再配分できるよう支援します。現在までに、Fortune 500、Fortune Global 100、中堅企業、公共機関など、幅広い業種の 5,200 以上の組織が、リミニストリートを信頼できるエンタープライズソフトウェアソリューションプロバイダーとして採用しています。詳細は、<https://www.riministreet.com>、をご覧ください。また Twitter (@riministreet)、Facebook、LinkedIn でリミニストリートをフォローしてください。（IR-RMNI）

## 将来予測に関する記述

本書に含まれる一部の記述は、歴史的事実ではなく、1995年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー規定における将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は一般に、「かもしれない」、「はずである」、「だろう」、「計画する」、「意図する」、「予測する」、「信じる」、「推定する」、「～する」、「可能性」、「思われる」、「求める」、「続ける」、「将来」、「予定する」、「期待する」、「見通し」などの単語やフレーズ又は表現が使用されています。これらの将来予想に関する記述は、将来の出来事、将来の機会、世界的な拡大及びその他の成長構想に関する取り組み、並びにかかる構想に対する当社の投資に関する当社の期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定及び経営陣の現在の予想に基づくものであり、実際の業績を予測するものではなく、また、歴史的事実を記述するものでもありません。これらの記述は、リミニストリートの事業に関する多くのリスク及び不確実性の影響を受け、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスク及び不確実性には、次のものが含まれますが、これらに限定されません：係争中の訴訟または新たな訴訟の弁護における不利な展開および関連するコスト。外貨為替の変動、不況の経済傾向の影響などを含むリミニストリートの事業環境の変化、リミニストリートが事業を行う業界及びリミニストリートの顧客が事業を行う業界に影響を与える一般的な金融、経済、規制、政治的な状況など。エンタープライズソフトウェア管理及びサポートを取り巻く環境の進化並びに新顧客を惹きつけて既存顧客を維持し顧客層を更に広げる当社の能力。ソフトウェアサポートサービス市場における競争の激化。当社の拡大された製品及びサービスのポートフォリオ並びに今後提供する可能性のある製品及びサービスの顧客による採用。現状の収益又は収益性を維持し又はこれらを伸ばす当社の能力、及び、コスト管理能力。当社が獲得可能な最大市場規模の予測、及び当社サービスの採用により他社サービス利用時と比して顧客に見込まれるコスト削減効果の予測。当社におけるセールスサイクルの変動。定着率に関連するリスク。リミニストリートの経営陣の1人または複数のメンバーの終任。有能な人材およびキーパーソンを惹きつけ保持する能力。利益を伴う成長管理への挑戦。有利な条件で追加の株式または債券による資金調達を行う必要性および能力、ならびに当社の成長構想への投資の増加に資するために事業からキャッシュフローを生み出す能力。ESG（環境、社会、企業統治）関連事項の当社に対する影響。COVID-19 パンデミックに関する残課題に対する措置及びそれらが当社の事業に与える経済上、運営上、及び財務上の影響。グローバル運営に付随するリスク。当社の情報技術システムに対する不正アクセスおよびその他のサイバーセキュリティ上の脅威を防ぎ、当社の従業員および顧客の機密情報を保護し、プライバシーおよびデータ保護規制を順守する当社の能力。財務報告に対する内部統制システムの効率性を維持する当社の能力。当社のブランド及び知的財産を維持及び保護し促進していく当社の能力。税法を含む法令の改正及び当社の取る税務ポジションが結果的に生み出す可能性のある当社に不利益な事象並びに税金引当金の不足。当社のクレジットファシリティにおける継続的な債務返済義務および当社の事業に対する財務・業務上の特約並びに担保付翌日物調達金利（SOFR）又は他の金利ベンチマークへの移行に伴う不確実性を含む金利リスク。当社の流動性要件を満たすための現金および現金同等物の充足度。当社の株式買戻プログラムに基づく買戻の量および時期（もしあれば）ならびにかかるプログラムを通じて株主価値を高める当社の能力。リミニストリートの株式の長期的な価値に対する不確実性。当社または当社の顧客の事業を混乱させる壊滅的な出来事。並びに、2023年8月2日付で米国証券取引委員会に提出されたリミニストリート Form 10-Q 四半期報告書に「リスク要因」の見出しのもとで記載され、今後提出される Form 10-K 年次報告書、Form 10-Q 四半期報告書、Form 8-K 臨時報告書、及びリミニストリートが米国証券取引委員会へ提出するその他の提出物によって随時更新される記述に含まれる事項を含むその他のリスク。また、将来予想に関する記述は、本書の日付時点における将来の事象及び見解に関するリミニストリートの期待、計画又は予測を提供するものです。リミニストリートは、その後の事象及び展開により、リミニストリートの評価が変化することを予想しています。しかしながら、リミニストリートは、将来のある時点で、これらの将来予想に関する記述を更新する可能性があります。リミニストリートは、法令により要求される場合を除き、そのような義

務を負うことを特に否認します。これらの将来予想に関する記述は、本書の日付以降のいかなる日付においても、リミニストリートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

©2023 Rimini Street, Inc. 無断転載を禁じます。“Rimini Street”は、米国及びその他の国における Rimini Street, Inc.の登録商標であり、Rimini Street、Rimini Street ロゴ、及びそれらの組み合わせ、並びに TM で示されるその他のマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利者に帰属し、別段の表示がない限り、リミニストリートは、かかる商標の権利者又は本書に記載されているその他の企業と提携若しくは関連し、又はこれらを推奨することを示すものではありません。